

# 静岡県看護協会准看護師進学修学金貸与規程

## (目的)

第1条 この規程は、看護師資格の取得を目指す准看護師を支援するため、看護師養成施設（以下「養成施設」という。）の在學生に修学金を貸与し県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

## (貸与の対象者)

第2条 修学金の貸与を受けることができる者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 静岡県看護協会の会員であること。
- (2) 准看護師として、入学直前まで県内の病院等医療機関又は社会福祉施設等に勤務していたこと。
- (3) 県内の養成施設又は県外の通信制養成施設に在学していること。
- (4) 卒業後は、県内の病院等医療機関又は社会福祉施設等に勤務すること。

## (貸与額)

第3条 修学金の貸与額は年額 240,000 円とし、予算の範囲内で貸与するものとする。

ただし、養成施設の年間授業料、教材費及び入学金の合計額（以下「年間所要経費」という。）が 240,000 円未満の場合は、当該養成施設の年間所要経費（1,000 円未満の額は切り捨てる。）を上限とする。

2 修学金の貸与は、各学年につき1回のみとする。

## (貸与の申請)

第4条 修学金の貸与を受けようとする者は、次の各号に掲げる書類を静岡県看護協会会長（以下「会長」という。）が別に定める期日までに提出しなければならない。

- (1) 修学金貸与申請書（様式第1号）
- (2) 在学する養成施設の長の推薦書（様式第2号）

2 前項に掲げる書類は、養成施設を経由して提出するものとする。

## (貸与の決定等)

第5条 前条に規定する申請書類の提出があったときは、会長はその内容等を審査して貸与の可否を決定し、文書により申請者に通知するものとする。

## (連帯保証人等)

第6条 修学金の貸与決定を受けた者（以下「修学生」という。）は、誓約書（様式第3号）を会長に提出しなければならない。

- 2 誓約書には、連帯保証人2名を付さなければならない。
- 3 連帯保証人は、職業を有し、かつ、独立した生計を営んでいる者とする。  
ただし、同居の家族等は除くものとする。

(修学金の交付等)

第7条 修学金は、1年度分を一括して申請者に交付する。

2 修学金の交付を受けた修学生は、速やかに領収書(様式第4号)及び借用証書(様式第5号)を会長に提出しなければならない。

(修学金返還)

第8条 修学生は、次の各号に掲げる事項に該当する場合は、速やかに貸与を受けた修学金を一括返還しなければならない。

(1) 退学したとき。

(2) 死亡したとき。

(3) 休学したとき又は停学処分を受けたとき、或いはその他の理由により養成施設を卒業できる見込みがないと会長が判断したとき。

(届 出)

第9条 修学生は、次の各号に該当した場合は、10日以内に会長に届け出なければならない。

ただし、修学生本人が疾病等のため届け出ることができない場合は、連帯保証人の一人が届け出なければならない。

(1) 第9条各号に該当したとき。

(2) 修学生又は連帯保証人の職業、住所その他重要な事項に異動があったとき。

(修学金の償還)

第10条 修学生は、貸与を受けた修学金を養成施設卒業後3年以内に償還しなければならない。

2 償還の方法は、月賦、半年賦又は年賦による均等償還のほか、一括償還とする。

ただし、一括償還は養成施設卒業後1年以内に行うものとする。

附 則

この規程は、平成14年12月1日から施行し、平成15年度分修学資金の貸与から適用する。

この規程は、平成17年4月1日から施行する。